

コミュニティスクールだより

令和4年度 第4号

第4回学校運営協議会

第4回学校運営協議会が2月17日（金）に開催されました。今年度最後の協議会は、第1部では今年度の教育活動についての説明を行いました、第2部では子どもたちの授業を参観していただきました。第3部では来年度の方針についての説明と、各委員からの感想や意見などを伺いました。

第1部 今年度の教育活動について



第1部では、堀井主幹教諭よりスライドを使って、後期学校評価についての説明を行いました。

「まなび」「かかわり」「くらし」3つのプロジェクトと「特別支援教育」について、それぞれ目標達成のための手立てと年度末評価についての説明をしました。

また、パートナーシップ事業とふれあいスクール事業の今年度の活動について、地域教育コーディネーターと運営主任より報告がありました。

第2部 授業参観



第2部では、全学年の授業の様子を参観していただきました。委員の皆様はそれぞれの授業を熱心に見られていました。6年生のフロアでは班ごとにポスターを作成していて興味深く見られていました。

第3部 次年度の方針についてと意見交換



第3部では、伊藤校長より来年度の教育ビジョン案についての説明を行い、その後審議していただきました。

各委員より様々なご意見、ご感想が出されました。

- ・とても骨格がしっかりしていて目指すところもはっきりしている。実践と結び付いていてよくできている。バランスが取れていてよいと思った。
- ・「認めあい、高めあう」というのはとても高度。自分よりも他人が優れていると認めること、他人と批判や反対意見が自由に出されるようなものでないと「認めあい、高めあう」とはならない。実践で成功したらとてもよい。
- ・見守り隊の感謝の集いなど、学校と連携している行事が復活して、子どもたちとかかわり合える機会があるとうれしく思う。
- ・いろいろことを知っている地域の人とのかかわりや、ボランティアの方が一生懸命してくれることで、子どもたちがよい時間を過ごせていると思う。
- ・学校に来られない子どもがしんどかったら無理しなくてもよい。そういう環境などの選択肢もあるとよい。
- ・学校に行かないと選択した子どもがどうしているのか、顔が見えないのは心配。
- ・自己肯定感について、認めあうのは難しい。認められても自分を認められない子どもをどうしたらよいか。気にしなくてよいというしなやかさ、真っ直ぐ受け止めないことなどが大事なのかと思う。

今年度始まった学校運営協議会ですが、委員の皆様からたくさんのご意見をいただくことがきました。これらの意見をもとに、また次年度につなげていきたいと思います。

お問い合わせ 下山小学校 273-0069
担当 CS 事務員 津野 香